

電 設 新 聞

発行所
 (社)福島県電設業協会
 発行人 松崎 勉
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設会館)
 TEL (024) 533-6226
 FAX (024) 533-6235
 編集印刷 (株)福島建設工業新聞社
 福島市西中央2-59

TOSHIBA
 Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
 驚きの高効率
T.LEDs



E-CORE
 高効率LEDダウンライト【イーコア】

照らす 明るさ 265lm	驚きの 高効率 50lm/W	抜群の 省エネ性 電機代約1/7*
---------------------	----------------------	-------------------------

*当社自動電球ダウンライト器具(LED:7000lm[W])と40W形ミニクリップランプの組合せとE-CORE(非準規格タイプ、白色相当(LED:4400lm[W]))の比較

東芝ライテック株式会社
<http://www.tlt.co.jp/>
 郡山営業所 TEL (024) 922-5511

新会長に松崎氏選ぶ

第61回通常総会を開催

当協会は五月三十一日、福島市のホテル辰巳屋で第六十一回通常総会を開いた。任期満了に伴い役員を改選、新会長に松崎勉氏を選出し、大槻賢彌前会長逝去後の新体制をスタートさせた。今年度事業として震災復興支援や新分野への取り組み、新公益法人制度への対応などの計画を決めた。(2面に23年度事業計画を掲載)

会員四十九人が出席。会長の死を悼んだ。

会長代行の八巻正隆副会長が震災、原発事故による現状に「先行き大きな課題だ」とあいさつ。道半ばで急逝した大槻前



新分野への取り組みなどを決めた総会



感謝状の贈呈

境負荷低減への取り組み
 ⑤協会継続教育事業(CPD)への取り組み強化
 などの。

松崎新会長は「震災と原発事故で福島県は四重苦にあえいでいる。われわれ業界もどう立て直していか先が見えないが、長い歴史と伝統を

持った電設業協会の力を結集して、この危機を乗り越えられたいと確信している」とあいさつ。大槻前会長が力を注いだ新分野の開拓に力を傾注する考えを示し、「厳し

いところばかりでは前席上、二十二年度の県優良建設工事(坂下高校体育館大規模改造電気工事)で知事表彰を受けた佐藤電設現場代理人の渡部裕之氏に感謝状、原発事故による避難会員四社

に見舞金を贈った。◆福島第一原発事故による避難会員(相双電気(株)・双葉郡浪江町)・(株)東京エレクトロ(双葉郡双葉町)・旭電気工事(南相馬市原町区)・(株)青田電気商会(同)新役員は次の通り。

▽会長 松崎勉(いわき支部・大和電設工業(株))
 △副会長 八巻正隆(相双支部・旭電設工業(株))
 △技術委員会担当 坂本幹夫(いわき支部・常盤電設工業(株))
 △産業(株)担当 八巻正隆(相双支部・旭電設工業(株))
 △支部・旭電設工業(株)担当 渡部裕之(いわき支部・常盤電設工業(株))

▽副会長 郡山電工(株) 大槻博太(福島支部・大槻電設工業(株))
 △副会長 佐藤卓立(福島支部・(株)佐藤電気商会)
 △副会長 三瓶良幸(郡山支部・太陽電設(株))
 △副会長 石川亘(白河支部・東陽電気工事(株))
 △副会長 車田昭(同・車田電気工業(株))
 △副会長 浅川誠吾(同・浅川電設) 三浦光博(いわき支部・三浦電気工事(株))
 △副会長 末永英隆(同・いわき支部・郡山電工(株))

各委員会構成決まる

総務、技術・安全、広報

総会後の理事会で決定した総務、技術・安全、広報の各委員会役員、メンバーは次の通り。

▽総務委員会
 △委員長 石川亘(白増田穂積(郡山支部・高

柳電設工業(株)) 坂本幹夫(いわき支部・常盤電設工業(株))
 △委員 渡邊貞男(福島支部・(株)渡邊電業)

△技術・安全委員会
 △委員長 永井博(郡山支部・郡山電工(株))
 △副委員長 大槻博太(福島支部・大槻電設工業(株))
 △委員 高橋武(福島支部・高橋電気工業(株))
 △委員 車田昭(白河支部・車田電設工業(株))
 △委員 末永英隆(いわき支部・いわき電気工業(株))
 △委員 荒川精一郎(同・常興電機(株))
 △委員 阿部展才(相双支部・相双電気(株))
 △委員 中津支部・千葉電機商会)

△広報委員会
 △委員長 佐藤卓立(福島支部・(株)佐藤電気商会)
 △副委員長 三瓶良幸(郡山支部・太陽電設(株))
 △委員 浅川誠吾(白河支部・浅川電設) 三浦光博(いわき支部・三浦電気工事(株))
 △委員 渡部裕之(相双支部・旭電設工業(株))
 △委員 千葉電機商会)

△技術・安全委員会
 △委員長 永井博(郡山支部・郡山電工(株))
 △副委員長 大槻博太(福島支部・大槻電設工業(株))
 △委員 高橋武(福島支部・高橋電気工業(株))
 △委員 車田昭(白河支部・車田電設工業(株))
 △委員 末永英隆(いわき支部・いわき電気工業(株))
 △委員 荒川精一郎(同・常興電機(株))
 △委員 阿部展才(相双支部・相双電気(株))
 △委員 中津支部・千葉電機商会)

△技術・安全委員会
 △委員長 永井博(郡山支部・郡山電工(株))
 △副委員長 大槻博太(福島支部・大槻電設工業(株))
 △委員 高橋武(福島支部・高橋電気工業(株))
 △委員 車田昭(白河支部・車田電設工業(株))
 △委員 末永英隆(いわき支部・いわき電気工業(株))
 △委員 荒川精一郎(同・常興電機(株))
 △委員 阿部展才(相双支部・相双電気(株))
 △委員 中津支部・千葉電機商会)



あいさつする松崎勉新会長

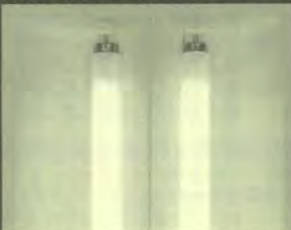


総会での新役員の紹介

Panasonic
 ideas for life

[従来器具]

FLR40形 × 2灯 (設計光束 4,200lm)



天井革命。

[WECO]

G-Hf63形 × 1灯 (設計光束 4,789lm)



2灯と同じ明るさを1灯で実現。

業界で最高出力・最長寿命のランプ*1と、専用インバータを採用。
 (6,560lm) (18,000時間) ※1: 40Wサイズにおいて、2008年4月現在(当社調べ)。



埋込FX619CAWF9
 他全24機種

「省エネ」と「省資源」の次世代スタンダード

WECO 基準対応 環境配慮型照明器具

「おまかせセルコン」に続き、蛍光灯照明器具において2年連続で省エネ大賞を受賞。

denko.panasonic.biz/Ebox/weco/

パナソニック電気株式会社 福島営業所

お問い合わせ先...〒963-8024 郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731



福島市のホテル辰巳屋で開かれた通常総会

◎コンプライアンス委員 底と企業の社会的責任 (CSR)の取り組み強化
 ①関係法令、関係諸制度 ②コンプライアンスの推進にかかる基本方針および推進計画の策定
 ◎総務委員会
 ①経営に関する事項および事業量確保対策
 ②行政機関への事業量確保および事業量確保の要望活動
 ③分業発注の推進、地

③会員行動方針の遵守に係る研修
 ④企業経営に関する講演・講習会および経営基盤強化の調査研究
 ⑤(社)建設産業団体連合会と連携した各種活動
 ⑥(社)日本電設工業協会との連携活動
 ⑦(社)日本電設工業協会との連携活動
 ⑧(社)日本電設工業協会との連携活動
 ⑨(社)日本電設工業協会との連携活動

PF1事業の推進活動
 ①創エネ、省エネへの技術開発や取り組みを強化して「電気の本拠地」としての「安心」の整備を
 ②世界的な問題である二酸化炭素排出量の削減の推進地調査
 ③協会継続教育事業 (CPD)への取り組み
 ④電気施工管理技士、電気主任技術者等各種資格取得の取り組み強化
 ⑤県総合設備協会との連携活動
 ⑥関係法令・諸制度に的確に対応できる研修・講習会の積極的開催
 ⑦(社)建設産業団体連合会と連携した各種活動
 ⑧(社)日本電設工業協会との連携活動
 ⑨(社)日本電設工業協会との連携活動

◎広報委員会
 ①ボランティア活動および災害時への取り組み、啓発・広報活動
 ②大規模災害時における緊急対策の応援に関する協定の普及啓発
 ③道路ふれあい月間運動の道路美化清掃運動への参加等
 ④電気施工管理技士、電気主任技術者等各種資格取得の取り組み強化
 ⑤県総合設備協会との連携活動
 ⑥関係法令・諸制度に的確に対応できる研修・講習会の積極的開催
 ⑦(社)建設産業団体連合会と連携した各種活動
 ⑧(社)日本電設工業協会との連携活動
 ⑨(社)日本電設工業協会との連携活動

創エネ・省エネを促進

23年度 事業計画 災害対応の訓練実施

元企業活動の要望活動
 ③公共工事の入札制度改革に係る要望活動
 ④各行政機関との意見交換会の実施
 ⑤災害協定に基づく災害対応の訓練実施
 ⑥地方版(CM)を採用
 新公益法人制度への取組
 3 福利厚生に関する事業
 慶弔弔意及び会員企業グループ保険取り扱い
 ◎技術・安全委員会
 1 技術革新、新分野への
 など環境負荷低減に配慮し、自然と共生する環境付加の少ない社会の形成に取組む
 ◎設備工事における技術開発、実用新案権の取得、NETIS(新技術情報提供システム)への
 ④電気施工管理技士、電気主任技術者等各種資格取得の取り組み強化
 ⑤県総合設備協会との連携活動
 ⑥関係法令・諸制度に的確に対応できる研修・講習会の積極的開催
 ⑦(社)建設産業団体連合会と連携した各種活動
 ⑧(社)日本電設工業協会との連携活動
 ⑨(社)日本電設工業協会との連携活動

県総合設備協会

新規分野へ取り組み

会長に 本多氏 ライフラインに責任



本多新会長

県総合設備協会は六月二十四日、福島市のホテル辰巳屋で第五回通常総会を開き、新規事業分野への取り組みや災害対応を通じた地域貢献などの事業計画を決めた。
 大槻賢彌会長の死去に伴う役員補選で、会長に会長代行の本多修二氏(県空調衛生工事業協会)が出席。本多会長代行が「大槻前会長らの遺志を引き継ぎ、会員の協力で協会発展に力を尽くしたい。建設市場の低迷、低価格受注による地方建設

業界の経営環境が厳しさを増す中で、昨年は事業量の拡大や最低制限価格等の引き上げなど一定の成果を見たが、一層の働きかけが必要だ」とあいさつ。東日本大震災の発生を踏まえ「災害時緊急対応とライフライン維持に機動的に対応、地域に貢献することがわれわれの大切な責務だ」と訴えた。

当協会、県空調衛生工事業協会、県設備設計事務所協会から会員六十人が出席。本多会長代行が「大槻前会長らの遺志を引き継ぎ、会員の協力で協会発展に力を尽くしたい。建設市場の低迷、低価格受注による地方建設

議事では平成二十二年事業報告・決算、平成二十三年事業計画・予算を審議し、原案通り承認した。
 経営基盤の安定
 人材育成へ研修
 新年度事業計画では、東日本大震災の復旧・復興に努めるとともに、経営基盤改善・技術力確保のための取り組みとして
 ①経営基盤の安定確立・人材育成のための研修
 ②講習会開催
 ③施工責任とコスト明確化に向けた普及啓蒙
 ④施設維持管理業などの新規事業分野への取り組みを上げた。



新年度事業を決めた通常総会

診断の実施、顧客満足度の向上⑤ESCO事業やCMを採用した民間発案型PF1利用の耐震化事業などの新規事業分野への取り組みを上げた。
 安全衛生意識高揚と地域防災活動に関する取り組みとして、教育啓発活動を展開し安全大会を開催。緊急時の出動態勢整備として県と締結した

このほか関係上部団体、連携団体から指導を受けながら経営、関係法令等に関する的確な情報の周知。会員同士の連携を深める事業も盛り込んだ。
 新会長に選任された本多氏は①新エネルギーへの取り組み②落札率の向上③工事量確保の三つを重点に掲げて協会運営に取り組む考えを示した。

人と環境を明日につなぐ、
 ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック
 NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社/〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
 TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706
 拠点/仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器具・空調機
 オール電化品・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社
 福島支店

TEL (024) 959-6060
 FAX (024) 959-6066

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL (0246) 581-5811
 FAX (0246) 581-5888

ヤママーエネルギーシステム株式会社
 いわき営業所

ディーゼル発電機 ガスタービン
 コージェネレーションシステム

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA
 電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社
 【本社】
 〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
 TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河/TEL (0248) 27-3385代
 須賀川/TEL (0248) 72-7136代
 山形/TEL (024) 952-5455代
 山南/TEL (024) 923-3298代
 郡山北/TEL (024) 939-3081代
 津/TEL (0242) 37-2660代
 町/TEL (0244) 22-5105代
 馬/TEL (0244) 35-1234代
 福島東/TEL (024) 546-3700代
 福島南/TEL (024) 553-1181代
 いわき南/TEL (0246) 28-6111代
 勿来/TEL (0246) 62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
 電材営業所 45ヶ所
 住設建材営業所 9ヶ所

福島支部 支部総会を開催

平成二十三年年度の福島支部総会は去る五月二十三日、福島市の大番竹林亭にて十一社出席のもと開催されました。

議事に先立ち、渡邊支部長より「本年度は3・11東日本大震災、今もなお収束が見えない福島第一原子力発電所事故の影響により県内経済及び建設業界は先が見えず、より一層厳しい状態が続くことが予想される。支部会員一丸となってこの難局を乗り越えていきたいと思います」と挨拶をいたしました。

その後議事に入り、平

成二十二年事業報告並びに収支決算報告、平成二十三年事業計画(案)並びに収支事業予算(案)が全会一致で承認され、新年度事業が決定いたしました。

引き続き支部役員改選の審議が行われ支部長に(前)渡邊電業渡邊貞男氏(再任)、副支部長(前)藤電気商会佐藤卓立氏(再任)、運営委員会担当理事高橋電工工業(株)高橋武氏(再任)、技術委員会担当理事大槻電設工業(株)大槻博太氏(新任)が承認され、支部役員が決まりました。新しい年度がスタートいたしました。(株)佐藤電気商会・佐藤卓立氏

郡山支部 安全を再認識

福島県内各地にも未曾有の被害を出した東日本大震災の影響で平成二十三年度は、難題山積みの非常に厳しい環境下でのスタートとなった。

郡山支部エリアは、震災で建物の全壊被害が多い。現在は被害のあった建物の解体工事が進み、当然、さら地が目立ち始めた。今後、さら地となった場所に新たに建物が建設されるには、まだまだ時間がかかりそうに官側の手厚い補助が早急が必要。

また、話題は原子力発電所の事故による「放射

能」どころに行っても、誰とでも、「本当に大丈夫なの」と不安は募るばかり。

震災から現在、また今後も震災復旧工事が続けられる中、緊急を要する作業の先行で日頃の安全意識が薄れないよう、ここで改めて「安全第一」を念頭に置く必要があります。

また七月一日から七日までの「全国安全週間」を期に経営者がリーダーシップを図り、更なる安全意識を高め組織が一丸となり労働災害防止に取り組まなければならない。幸)

いわき支部 いわきの現状

いわきは沿岸部の津波災害がけきの撤去作業が順調に推移しており、産業界も日産に代表されるいわきの進出企業は生産活動を再開して、いったん解雇された派遣社員も一部ずつ復帰しています。ゴルフ場や市民施設も復興再開に向けた行程を模索しつつ、秋口にはスパリゾートハワイアンズの再開の予定と聞き現状復興に対する「にぎわい」を期待してあります。

平地区は、原発事故に対する収束関連協力企業の拠点として、事務所機

能や宿泊設備の提供、そして南双葉地区にあった関係企業と市民の方々の一時避難拠点として三万人程度の方が生活や企業活動をしており、生活・不動産関連の業種は、意味バブル状態です。今仮設住宅の整備により新たな生活が始まり、そこにいわき市民として、手に手を差し伸べて共存共栄して行くか、いわきの課題です。

現状の状況を受け入れつつ、新しい地域づくり、新時代をどのように生き抜くか「智恵と情熱と行動力」を問われるときであります。「がんばるぞい、いわき」。(三浦電工工事(株)・三浦光博)

協会支部だより

相双支部 くじけないで

相双支部総会が五月二十三日、相馬市のろぼたやき鈴で開催されました。八巻支部長の挨拶の後、議事に入り、平成二十二年の事業報告並びに決算報告と平成二十三年の事業計画並びに収支予算案が可決され最後に役員改選が行われ全員の留任が決定しました。

当初は未曾有の大災害の後なので懇親会が中止にしようかという話もありましたが、こんな時だからこそみんなで懇親を深めながら話をしようという事になりました。

この浜通りは地震、津

波そして原発事故の影響で地域は寸断され、経済は麻痺し生活が保てない状態になってしまいました。支部会員の中にも罹災し、会社にも自宅にも戻れない人もいますが、社業や協会の事業にと頑張っている話を聞きました。

「くじけないで」
ねえ、不幸だなんて溜息をつかないで、陽射しやそよ風は、えこひいきしない。
夢は、平等に見られるのよ、辛いことがあったけれど、生きていてよかった。
あなたもくじけずに柴田トヨ・詩集「くじけないで」より(旭電工工事(株)・渡部昌彦)

白河支部 エネルギーの転換

原発から再生可能なエネルギーの転換と叫ぶ今日、国内では太陽光発電の陰に隠れ、それほど期待されていない風力発電だが、世界においては第四の革命と言われる電気エネルギーの牽引力となっている。現在二〇一一年の風力発電市場は、ほぼ二億キロワットに達したと言われている。

世界の原子力発電所のほぼ半分の発電量に達し、五年以内には原子力発電を追い越す勢いである。自然エネルギーの風力発電が今後中心となっていく。風力発電は小規模分散型で、注生産から大量生産体制に移行しており現地に機器が搬入されてからわずか三日で完成する。準備期間を入れても数年で稼働できるという短期間に政策の効果が表われている。日本は風力発電の普及で世界十八位と立ち遅れ、市場は縮小から死滅に向いつつある。これは政策の粗末さ国と地方それぞれの複雑で不透明な裁量規制、そして鳥への影響、景観、低周波問題などの社会的な反発、四面楚歌の状態が現状である。

今後の国政において風力発電、そして太陽光発電の普及促進に邁進していただきたい。(株)浅川電設・浅川誠吾)

模分散型で、注生産から大量生産体制に移行しており現地に機器が搬入されてからわずか三日で完成する。準備期間を入れても数年で稼働できるという短期間に政策の効果が表われている。日本は風力発電の普及で世界十八位と立ち遅れ、市場は縮小から死滅に向いつつある。これは政策の粗末さ国と地方それぞれの複雑で不透明な裁量規制、そして鳥への影響、景観、低周波問題などの社会的な反発、四面楚歌の状態が現状である。

今後の国政において風力発電、そして太陽光発電の普及促進に邁進していただきたい。(株)浅川電設・浅川誠吾)

会津支部 防災意識を高めよう

東日本大震災の被災地の方々にお見舞いを申し上げます。

私にも守りたい人、守らなければならない人がいます。しかし、状況を確認するにも震災当時は電話は不通、テレビ・ラジオの一方通行の情報。インターネットであって、直接被災地への連絡ができる状況ではなかつたので不安が増幅するばかりでありました。

国、自治体は国民の生命財産を守るために最大の努力を傾注して頂きたいと思っております。

国会では与野党間で予

算、予算関連法案が審議されていますが、一向に先が見えてきません。政争ではなく国民の生活を考えたい。早い対策とライフラインの復旧を望みたいと思っております。

協会は県との防災協定を締結しており、今後行政の災害復旧に向けた指針が示されれば、会員の存在が活かされるのではないのでしょうか。

統一地方選挙の年です。国民に安全、安心を。その一つには防災に対する危機管理意識、インフラ整備等に理解を持ち、積極的に取り組んでいただく候補者、政党け合い・励ましあい・いたわり合うことと思っております。(株)和泉電機・五十嵐敬三)

編集後記

3・11から百日経過して少しずつ復旧に兆しが感じられます。

ただ、原発事故の収束工程は良くなるどころか、その被害の実態が明らかになるたびに今後の先行きに対し不安が募るばかりです。もしかすると、今回の事故は、原子力エネルギーの利用について人間が神の領域を侵したことに對する三度目(チェルノブイリ、スリーマイル島、福島第一)の警告かもしれない。特にMOX燃料を抱えた三号機については危険な状態がいまだに把握されずに報道すらされない状態です。

日本の将来・福島への未来、我々の人生そのものに大きく立ちかかった原発の収束は遠く長い道程になることを心して、新しい子供や若者に未来を託していかなければなりません。いわきの名産の新鮮な「雲丹」や「ヤナギカレイ」「日光のから揚げ」や「秋カツオの刺身」が食卓に並ぶことは二度とないような気がしておられます。見えぬ不安と闘いながら、新しい人生設計を模索しなければならぬと考えます。

福島は、「再生できるのしょうか」。今大事なこと、お互いに助け合い・励ましあい・いたわり合うことと思っております。合掌(三浦電工工事(株)・三浦光博)

3・11から百日経過して少しずつ復旧に兆しが感じられます。

ただ、原発事故の収束工程は良くなるどころか、その被害の実態が明らかになるたびに今後の先行きに対し不安が募るばかりです。もしかすると、今回の事故は、原子力エネルギーの利用について人間が神の領域を侵したことに對する三度目(チェルノブイリ、スリーマイル島、福島第一)の警告かもしれない。特にMOX燃料を抱えた三号機については危険な状態がいまだに把握されずに報道すらされない状態です。

日本の将来・福島への未来、我々の人生そのものに大きく立ちかかった原発の収束は遠く長い道程になることを心して、新しい子供や若者に未来を託していかなければなりません。いわきの名産の新鮮な「雲丹」や「ヤナギカレイ」「日光のから揚げ」や「秋カツオの刺身」が食卓に並ぶことは二度とないような気がしておられます。見えぬ不安と闘いながら、新しい人生設計を模索しなければならぬと考えます。

福島は、「再生できるのしょうか」。今大事なこと、お互いに助け合い・励ましあい・いたわり合うことと思っております。合掌(三浦電工工事(株)・三浦光博)

機能アップ

Superラインチェッカ TLC-C形

- ブレーカ探査
- ケーブル探査
- 埋設線探査
- 漏電点探査(死線)
- 回路電圧表示

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市吉倉字吉田119-1 〒960-8165
TEL (024)546-1321 FAX (024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
場/山形・北海道千歳

ご意見をお寄せ下さい

社団法人福島県電設業協会

〒960-8114 福島市松浪町9-6
TEL(024)533-6226 FAX(024)533-6235
E-mail:info@fukudensetsukyo.or.jp
URL:http://www.fukudensetsukyo.or.jp

URL http://www.towagp.co.jp/

東和電機工業株式会社

受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造
新エネルギーシステム関連事業
コ・ジェネレーションシステム関連事業
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造

郡山営業所 所長 白取 隆
〒963-8851 郡山市開成5-18-20
マイシティ開成1F
TEL024-933-3299 fax024-934-5178

Challenge & Creative
TOWA

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ● 交通信号製品 ● 駐車場機器製品
● 入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店

支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌